

森のおくりもの6月



サンコウチョウ (カササギヒタキ科)



写真：佐藤博美さん (宮城野区)

深緑の季節6月です。ヤマボウシやエゴノキなどの樹木の花をはじめ、多くの花々をまだまだ見ることができます。また、この季節は、入梅までの期間、森を歩くのには特に気持ちの良い日が続きます。そんな深緑の森の雰囲気を楽しんでみませんか。 (館長 菊池正行)

## 誰が誰のまねをしているの？

# 「赤いはねのムシたち」



赤い翅をした甲虫がバンザイをして飛んでいるのを見かけませんか？似ているようで少し違う3種類のムシがいます。今回はその3種類を比べてみました。一番よく目にするのは「アカハネムシ」です。そして、「ベニボタル」の仲間と、捕まえるとパチンパチンと音を出しながら胸を動かす「ベニコメツキ」です。それぞれ、どこが違うかわかりますか？

### 毒のあるムシはどれ？

#### アカハネムシ

胸の形が丸く  
明るい紅色の  
翅はしもぶくれ  
な感じ。



【体長：約11.5-17mm】

#### ベニボタル

ちょっと平たく  
触ると柔らかいよ



【体長：約8.5-14.3mm】

#### ベニコメツキ

捕まえるとパチン  
パチンと胸を動か  
すよ。体はかたい



【体長：約9-15mm】

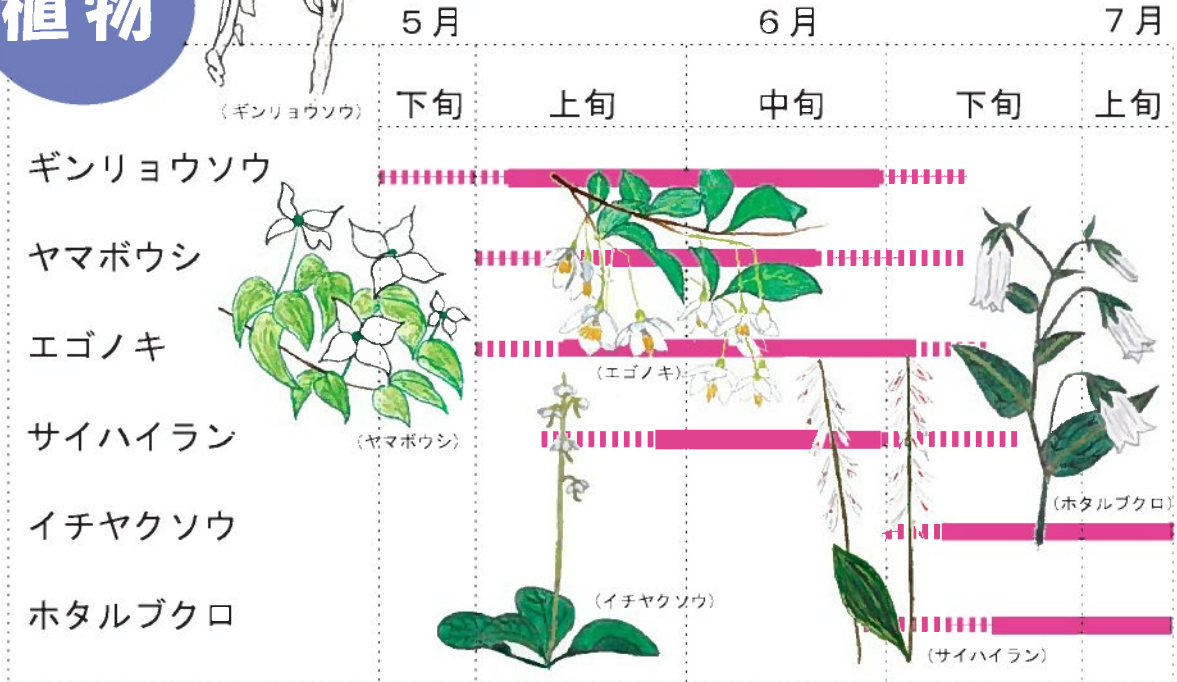
似ているのには訳があります。ベニボタルは体内に毒を持つムシで、危険を感じると脚から毒を含む液体を出します。目立つ赤い色は「毒があるぞ！」と天敵に警告している色と言えます。他の2種類のムシには毒がありませんが、毒虫のベニボタルを真似て、天敵から身を守っているのです（擬態）。比べてみると胸の形や翅の形、体の固さが違っていたりするのですが、ぱっと見た感じは本当によく似ています。

また、ベニボタルは名前に「ほたる」がつきますが、蛍の仲間ではありません。昼間活動する蛍が光らないのと同様に、ベニボタルの仲間も光りません。光らなくても十分きれいな赤い色をしていて目立ちます。そして、立派な触角も目を引きます。雄は櫛ひげ状になり、雌はのこぎり状になります。先日、アカハネムシの雄2匹が向かい合わせになり立派な触角で相手をバシバシたたいている（ように見えた）のを見ました。ケンカしていたのか、何かさぐっていたのかわかりませんが、皆さんも観察すると、ちょっとおもしろい光景に出会えるかもしれませんよ。

【レンジャー：黒川周子】

# 6月の生物ごよみ

## 植物

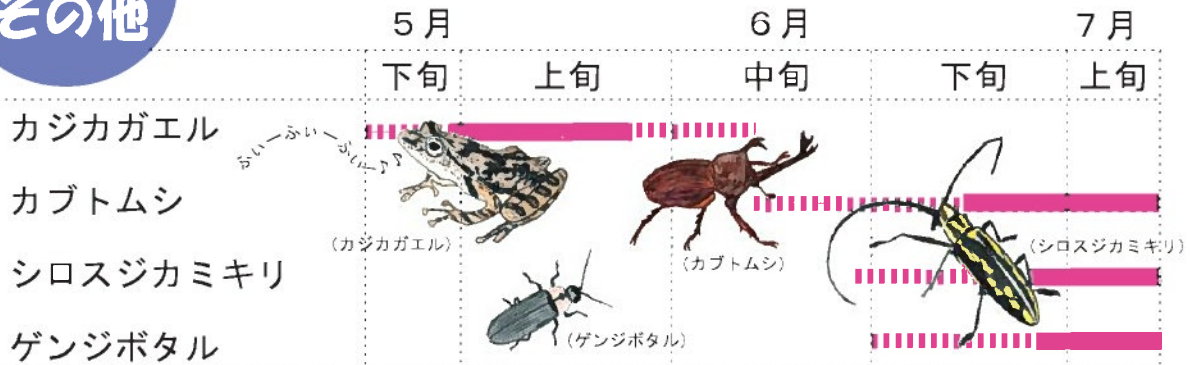


カタクリの花も終わり、あっという間に山は緑に覆われました。

5月18日(土)に宮城県森林インストラクター、太田吉厚さんが講師の『ぴっぴ先生の小鳥教室』というイベントを行いました。これはシリーズもので昨年の11月に巣箱を作るイベントから始まり、4月には巣作りの様子、今回はそれを利用した小鳥たちを観察するというものです。10カ所かけた巣箱のうち7カ所が利用されており、卵を温めているものから雛にかえり親が餌を運んでいる姿まで、普段ではみられない巣箱の中の様子までじっくりと観察できました。今月はいよいよ最終回『子育て編』です。どんなドラマを見ることができるでしょうか。是非ご参加下さい。

【レンジャー：齋 正宏】

## 昆虫・その他



# レンジャー 木もれび BLOG



略してコモブロ 第13回 『森 de クマさん』

緑したたる輝いた季節になり、自然観察の森にも多くの方がやってくる季節になりました。

自然観察センターの窓口では、花や野鳥の名前など利用者の方から様々な質問を受けますが、この時期に多くなる質問は「クマには会いせんよね？」というものです。この質問に対し、私はいつも「クマがいるかないか？なら、いるかも知れませんが、会うか会わないか？なら、会わないと思います。」と答えています。

それは、ツキノワグマがとても臆病な生き物で、人間に会わないようにひっそりと生きている動物だからです。ですから、ラジオや鈴の音で人間の存在を知らせれば、こちらが気づく前にクマさんのほうで逃げていくでしょう。



自然観察の森の入り口に立っていた「熊出没注意」の看板が劣化してきたので、この春に新しくしました。でも、替えた理由は痛んできたからだけではなく、もともと太白区が設置していた看板に描かれていたクマの絵が“ヒグマ”だったせいもあります。

ヒグマは北海道にしか生息せず、肉食性が強いですが、ツキノワグマは草食性の強い雑食性で、人を食べるために襲ってくることはまずありません。不幸な事故は、人に会って驚いたクマさんが、恐怖のあまり手を出すために人が傷つけられてしまうケースが大部分なのです。

自然との共存を啓蒙する施設である自然観察の森では、危険な生物も住んでいることを予め看板でお知らせしています。森に入られる際には長袖長ズボンを着用し、明るい色の服装でお楽しみ下さい。



ヒグマの絵の古い看板



新しいツキノワグマの看板

【レンジャー：高橋千尋】

## 深緑の森の人気者たち！

6月に入り深緑がさらに深みを増しております。今年は、フジの花が例年よりもたいへん綺麗だったように感じました。自然観察センターの周囲でも有名な庭園に負けないくらいすばらしい満開のフジを見ることができました。皆様はいかがだったでしょう。

これからも森の中では、ホオノキ、ヤマボウシ、エゴノキなどの樹木の花がつぎつぎと咲き誇り、まだまだ私たちの目を楽しませてくれるはずですよ。

さて、今回の「森のおくりもの」の表紙の写真は「サンコウチョウ」です。この鳥は、自然観察の森ではたいへん人気のある野鳥です。もうすでに、この鳥を写真に収めるため多くの方々が自然観察の森にこられております。ちなみに、「サンコウチョウ」は東南アジア方面から初夏に向けてやってくる渡り鳥です。頭部と胸が真っ黒く、長い尾羽をもち、目の周囲にはコバルトブルーのアイリングがある美しい鳥です。特に、雄は非常に長い尾羽を持ち、アイリングも太く鮮やかであることから、さらに人気が高いようです。夏すぎごろまで姿を見ることはできるようですが、会えるか否かはねばりと運次第かと思いますのでぜひ挑戦してみてください。

また、これからのこの森の観察対象のもうひとつのお勧めは「ホタル」です。夜になると光るあのホタルです。一般に「ホタル」と言えば、「ゲンジボタル」と「ヘイケボタル」を思い浮かべる方が多いと思います。確かに、自然観察の森の中でもゲンジボタルには出会うことは十分に可能です。時期と時刻と運次第ではありますが。

しかしながら、ホタルはこれだけではありません。ここ自然観察の森では、ヒメボタル、オバボタル、クロマドボタルなどのホタルも見ることができます。ただし、発光を見るためには暗くなってからとなってしまいます。したがって、時期、時刻、運に加え、いろいろな危険が潜んでいる夜の森を歩くための十分な知識と注意が必要となります。

そこでおすすめなのが、当自然観察センターが主催する夜の森の観察会「たんけん！かんさつ！夜の森 2013」です。参加ご希望の方は7月の「市政だより」などで、自然観察センターのイベント予定の詳細をチェックしてお申し込みください。なお、夜の森の観察会は、たいへん人気のあるイベントでありますので、受付開始後の早めの参加申し込みをお勧めいたします。

【館長：菊池正行】



# 6月のイベント案内

タイトル	日時	内容	定員	申込
景観 BONSAI 体験講座 手のひらにのる森をつくる	8日(土) 10:00～12:00	樹木の赤ちゃんを集めて、小さな森をつくります。大人の参加歓迎	一般 先着 15名	6日(木) から電話で
ぴっぴ先生と小鳥の巣箱 かんさつ・子育て編	15日(土) 10:00～12:00	おヒゲの“ぴっぴ先生”と子育て真っ最中の野鳥を観察します。	一般 先着 10名	6日(木) から電話で
おはよう野鳥かんさつ	22日(土) 6:30～8:00	初夏の雑木林を歩き、野鳥のさえずりを楽しみませんか？	なし	不要
キッズ昆虫たんけん隊	22日(土) 10:00～12:00	自分で昆虫を捕まえ、スケッチしてじっくり観察。保護者の方は同伴できません(希望で別にガイドします)。	小学生 先着 15名	メールか 往復葉書 で12日 必着
深緑の太古の森をたずねて	29日(土) 10:00～15:00	若葉が茂る鉤取山の原生林の中を自然観察しながらハイキング。	一般 先着 20名	6日(木) から電話で

毎週  
日曜は

## 「ガイドウォーク」の日!

6月のテーマは『森と昆虫たち』です

開催日は2日, 9日, 16日, 23日, 30日

午前の部10:00～11:30 午後の部13:30～15:00

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。

●30日の午後は館長によるガイドウォーク「館長と森を歩こう」です。



## 6月の休館日

3日, 10日,  
17日, 24日  
が休館です。

表紙の絵や  
原稿を募集  
しています。



里山や自然に関するものを  
描いて(書いて)ね!  
レンジャーからのプレゼント  
があるよ!!

## ♪森へおいでください♪



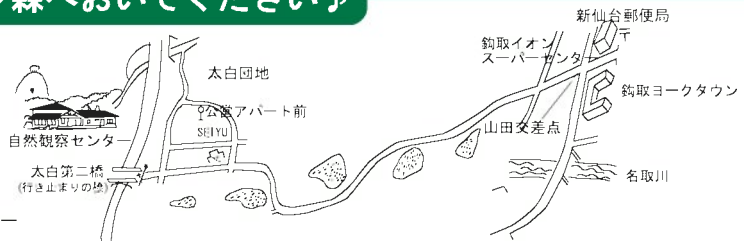
### 宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から  
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り  
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



### お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



Webから「森のおくりもの」が  
カラーでご覧になれます。

「**太白山 森のおくりもの**」で検索。

「杜のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2013年6月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター  
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: [taihakusan\\_moushikomi@sendai-green-association.jp](mailto:taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp)